

BS放送の現状と将来について

2020年9月30日

(株)放送衛星システム
総合企画室長 浜崎浩丈





B-SATの基本使命

1. いつでも、どのような状況の中でも、視聴者の皆さまにBS放送を継続してお届けすること
2. BS放送の更なる発展・進化に尽力すること

放送衛星運用体制 (2020年9月末現在)

BSAT-3 シリーズ



2007年8月15日打上げ

設計寿命 13年以上
同時送信可能ch数 8ch (右旋)



2010年10月29日打上げ

15年以上
8ch (右旋)



2011年8月7日打上げ

15年以上
12ch (右旋)

BSAT-4 シリーズ



2017年9月30日打上げ

設計寿命 15年以上
同時送信可能ch数 24ch (右左旋)

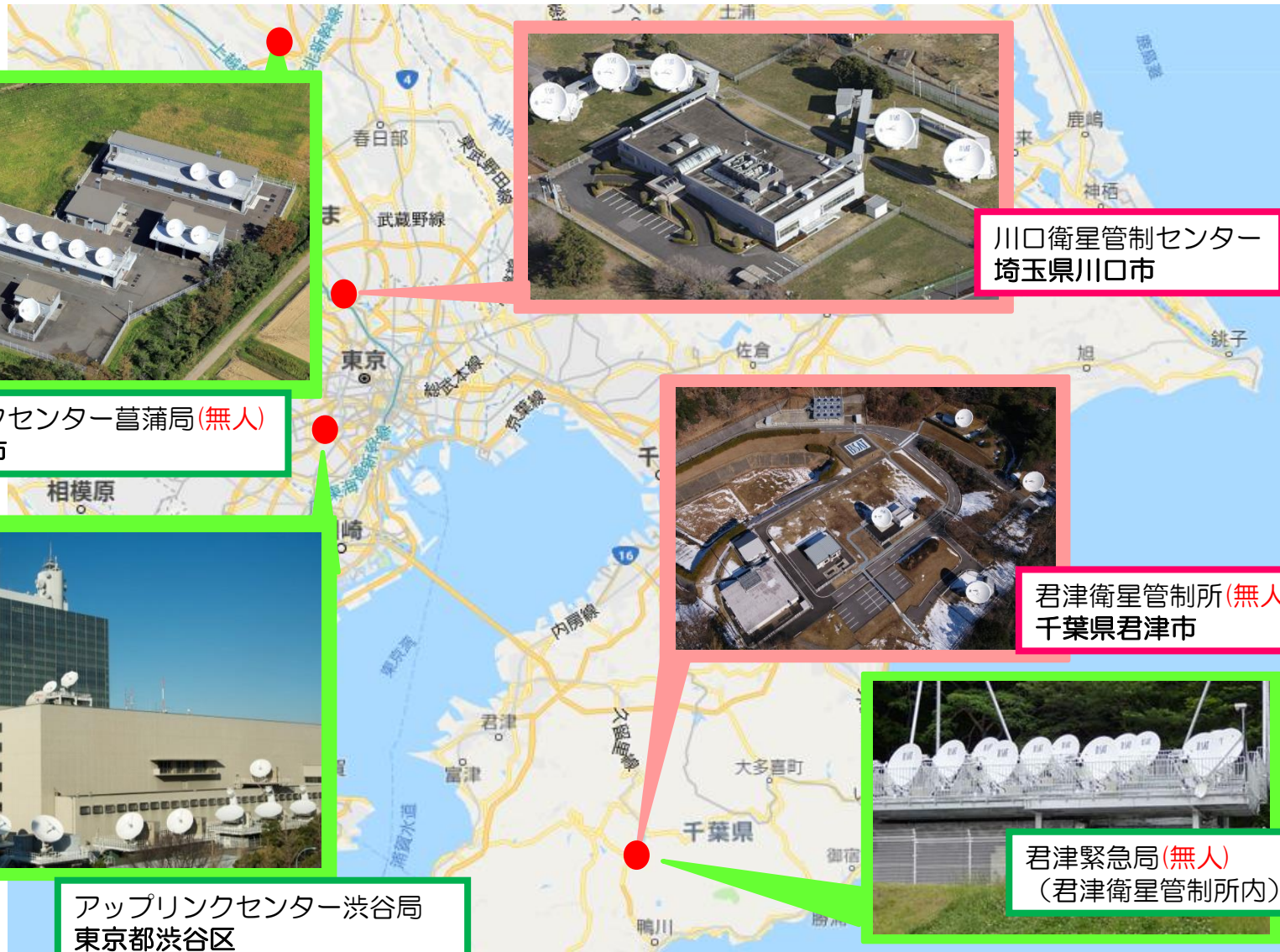


2020年8月16日打上げ

15年以上
24ch (右左旋)

全5機を
東経110度
赤道上空3万6千km
に配置

地上設備の拠点



アップリンクセンター菅蒲局(無人)
埼玉県久喜市

川口衛星管制センター
埼玉県川口市

君津衛星管制所(無人)
千葉県君津市

アップリンクセンター渋谷局
東京都渋谷区

君津緊急局(無人)
(君津衛星管制所内)

現在の2K放送の周波数割当

1ch	3ch	5ch	9ch	11ch	13ch	15ch	19ch	21ch	23ch
BS朝日 16	WOWOW プライム 24	WOWOW ライブ 24	BS11 18	BSスカパー！ 16	BS日テレ 16	NHK BS1 20	グリーン チャンネル 16	シネフィル WOWOW 16	釣りビジョン 16
BS-TBS 16			NHK BS プレミアム 18	スター チャンネル1 15	放送大学 16		BSフジ 16	A-PAB 2	Jスポーツ1 16
BSテレ東 16	WOWOW シネマ 24	TwelV 15						16	
	ディズニー 6					スター チャンネル3 13			

現在の新4K 8K衛星放送の周波数割当

7ch	17ch	2ch	4ch	6ch	8ch	10ch	12ch	14ch	16ch	18ch	20ch	22ch
BS朝日 4K	NHK BS4K				Shop 4K		WOWOW 2021.3-	NHK BS8K				
BSテレ東 4K	BS-TBS 4K	未使用	未使用	未使用	4K QVC	未使用	未使用		未使用	未使用	未使用	未使用
BS日テレ 4K	BSフジ 4K				ザ・シネマ 4K		未使用					

(右旋円偏波)

(左旋円偏波)

〔 2023年11月30日までの期間、左旋を使用する民間放送事業者は中継器料を無料とする特別措置を適用している。 〕

周波数の不稼働

2K新規3番組が開始した後も継続的に右旋周波数で少なくとも24スロット以上の不稼働スロットが発生する

○

インフラ利用料の低減を目的とした使用スロット数の縮減



インフラの不稼働率の増大



利用料金の改定



番組当たりの利用料に影響



新たな使用スロット縮減等の利用料削減措置

といった悪循環を発生させる可能性がある。

〔衛星中継器料は1中継器約7.2億円/年であるため、1/2中継器の不稼働が固定的にあるとその分が右旋12中継器に降りかかる可能性がある。〕

今後の周波数利用について

- 今後、放送事業者による採算性の精査や4K受信機の普及によって番組の整理が行われる場合には、トラポンの整理を行い、2K放送ではなく4K放送への移行を図ることになると考える。
(左旋から右旋への移行も出てくるものと思われる。)
- BS放送全体として、2K放送から4K放送への移行が順次行われていくと考える。
- 左旋の有効活用については8K放送だけでなく、新規の放送サービスの創造も必要と考えられる。

BS放送の将来について 1

- ☆ 2K放送の時代から4K・8K放送の時代へ
- ☆ 右旋(奇数)チャンネルの空きスロットを集めて4K放送へ
- ☆ 左旋(偶数)チャンネルは最高品質TVと新サービスを展開

- 最高品質の8K放送をBSで全国に発信
- 新サービスの展開

例えば、新たにネットとの融合を図り、
日本全国のローカル5G・6G、ホームサーバー向け
データ放送(ファイル伝送)を実施

〔 5G以降の時代のスマホアプリ・コンテンツは
ホームサーバー経由でBSからダウンロードする時代へ 〕

BS放送の将来について 2

全国に一律同時に大容量の情報を伝送可能な
BS放送の
効率的な放送メディアとしての特性を最大限活用する

